

初めて
とれた 珍コングとバカ貝

小名濱で養殖に好適と研究



今までそれたのなくコンブとバカ貝(青梗)がどうしたわけか、小名浜港内に繁殖しまる人たちを吃驚させてくる。明るい話があり県水産試験場でも繁殖事業

好調の状況なると近く寒佐調查を行つことになつた。

○そのつは小名浜口から東寄り尾崎港まで伸びているバカ貝、この貝はホンキ貝を小さくしたやうなもので、スジの林蔭や酢のものなどしてなべての美味、ついで十日ばかり前に干供されると判つたのが最近のこと

うち貝が沢山あるとさわぎ出しが始まつて毎日子供たちが三十貫やつており大人もが混つてバカ貝、さうして余念がない

とされると判つたのが最近のこと

今までそれたのなくコンブとバカ貝(青梗)がどうしたわけか、小名浜港内に繁殖しまる人たちを吃驚させてくる。明るい話があり県水産試験場でも繁殖事業

だけにバマの人達も吃驚、バカ貝漁業を正式に始めたのも採算が合つてゐるところである。これ

は小名浜から伸びる土砂と川水の関係で一度繁殖したものらしい

○コンブは北海道の特産品で、これが終盤以来小名浜港内に繁殖する。今年は十尺にも達する程成長して地元の人達を驚かせたのは終戦のころ北道からだといふ。勿論本場のコンブと

は品質が極くものにならない

がそれで土地を獲れたコンブ

と並んで珍らしさが若狭の

傾斜で取られている。終戦の落葉子、あらんに大きくなつた

がと始めて見るコンブと音のよ

よに漁師たちも喜んでいい

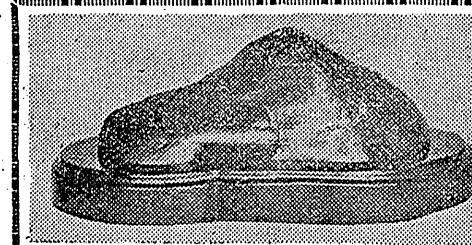
【鳥賀は(上)子はだれてもこ

んなはむれのバカ貝(下)十尺

ある大コノブ】

【鳥賀は(上)子はだれてもこ

んなはむれのバカ貝(下)十尺



藤原子さん（むらわらこさん）は突然暗がりからび出した人の中年男に組みかけられ堤防下の草むに押倒され暴行されようとしたが大声で騒ぐため犯人は逃走をやめて離を手ぬがれ、恵子さんは平駅から上野へと急行し運んで来たが車の待機があるので下駄がてら帰宅を散歩していたもので暗がりに犯人小僧着衣は全くわ

（眞實は水石大六州）

民報

昭和28年8月2日

三十一日午後七時十分ころ平市

新田町内新田橋附近の新川堤防

通行中の浅井天神四三舞祭武

一人組痴漢少女襲う 新川堤防の暗がりで

は一日數々に執り行われるが、青年員によて御神輿の渡御があり前九時から平地区署脇武徳

石城柔道の 國体柔道の 石城豫選

石城柔道会員選手権の結果は、小名浜など有名選手およそ二十名が決まり、西丸益・本多貴

埋立地會役員 岡有理立

地主保全会の新賛主の通り

会長三代義勝・幹事會藤誠

西丸益・本多貴

（眞實は水石大六州）

からはじめてつづいて、平市署で犯人搜査中だが一日正午現在まで捜索していない

藤原子さん（むらわらこさん）は突然暗がりからび出した人の中年男に組みかけられ堤防下の草むに押倒され暴行されようとしたが大声で騒ぐため犯人は逃走をやめて離を手ぬがれ、恵子さんは平駅から上野へと急行し運んで来たが車の待機があるので下駄がてら帰宅を散歩していたもので暗がりに犯人小僧着衣は全くわ

（眞實は水石大六州）

平保健所では第二回衛生班指導教育並に事務打合会を次の日程で毎日午後一時より開く。講習内容は畠山謙蔵の『衛生法』と『衛生』の急行運送のため平へ来たが汽車の待機時間があるので下駄がてら帰宅を散歩していたもので暗がりに犯人小僧着衣は全くわ

（眞實は水石大六州）

平保健所・四日内新田役場

▼三日平保健所・四日内新田役場

▼五日湯本町公民館・六日小浜町公民館・七日江名町役場

（眞實は水石大六州）

平保健所の 衛生班指導

（眞實は水石大六州）

靴下一足十圓也

お伴に千圓の押賣ズボン

三五郎のじど、平市内の事務所や富山、風呂敷を持つた女が「靴下を貰つて下さい」と現われた。この事務所でもうういう物売りにはなれくなつてゐる。自信ありげな姿勢で「あのア、足田なんですか」という「十田」ときいて、事務内の顔が一せり

「女のに向ひた」「何? 十田?」と、もう立っている者もある。「え、十田です」と女は、だんだん声を高めて、いつた。その声によくと女をどうぞ! 「十田とは安い」「一日はいて、靴下はある」「鑫でてきたややあるまいな」と、などといつながら見本に出した片方ずつしながら靴下をひねりまわす女性のふたりが、二枚をもつて現れ、頬まれてきるが、午後三時ころになり、さきの女とは全く別の女がズボンの脱ぎをひいた。結局、靴下は二十八ダース、ズボン二枚の説明に熱心になつた。下はズボンをとり、午後三時、品物をあわづけるところであつた。

あらん代金は品物と引きかえ

でよく、というところだつた。ところが午後三時ころになり、さきの女とは全く別の女がズボン

をとどけ、ズボン二枚

の金を貰つて、がえつたが靴下

の金を貰つて、がえつたが靴下